

**製品名: IL-1RI (リン酸化 Tyr496) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04836**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:100-1:300,ICC/IF 1:50-1:200,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	65kDa

**抗原情報**

遺伝子名	IL1R1 IL1R1; IL1R; IL1RA; IL1RT1; Interleukin-1 receptor type 1; IL-1R-1; IL-1RT-1; IL-1RT1; CD121
別名	antigen-like family member A; Interleukin-1 receptor alpha; IL-1R-alpha; Interleukin-1 receptor type I; p80; CD antigen CD121a
遺伝子 ID	3554.0
SwissProt ID	P14778
免疫原	抗血清は、ヒト IL-1R $\alpha$ /CD121 $\alpha$ の Tyr496 リン酸化部位近傍の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 471-520

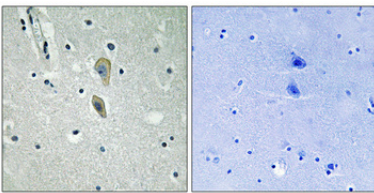
## 背景

この遺伝子は、インターロイキン-1 受容体ファミリーに属するサイトカイン受容体をコードします。コードされるタンパク質は、インターロイキン-1 $\alpha$ 、インターロイキン-1 $\beta$ 、およびインターロイキン-1 受容体アンタゴニストの受容体です。これは、多くのサイトカイン誘導性免疫応答および炎症応答に関与する重要なメディエーターです。この遺伝子は、染色体 2q12 上の関連するサイトカイン受容体遺伝子のクラスターに位置しています。[RefSeq 提供、2013 年 12 月]、機能: インターロイキン-1 $\alpha$  (IL-1A)、 $\beta$  (IL-1B)、およびインターロイキン-1 受容体アンタゴニストタンパク質 (IL-1RA) の受容体。アゴニストとの結合は NF- $\kappa$ B の活性化につながります。シグナル伝達には、IL1RAP、TOLLIP、MYD88、IRAK1 または IRAK2 を含む三元複合体の形成が関与しています。類似性: インターロイキン-1 受容体ファミリーに属します。類似性: 1 つの TIR ドメインを含みます。類似性: 3 つの Ig 様 C2 型 (免疫グロブリン様) ドメインを含みます。サブユニット: IL1RAP に結合します。

## 研究分野

MAPK\_ERK\_Growth;MAPK\_G\_Protein;サイトカイン-サイトカイン受容体相互作用;アポトーシス抑制;ミトコンドリアアポトーシス;アポトーシスの概要;造血細胞系統;

## 画像データ



パラフィン包埋ヒト脳の免疫組織化学染色。抗体は 1:100 (4°C、一晚) に希釈した。抗原賦活化には、高压高温トリス EDTA (pH8.0) を使用した。抗体から得られたネガティブコントロール (右) は、免疫原ペプチドで前処理した。